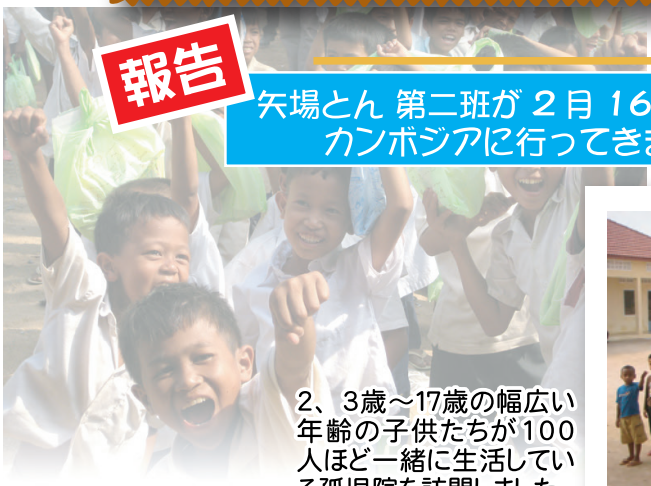
矢場とん カンボジア便り Vol.4



報告

矢場とん 第二班が 2月 16日～ 20日
カンボジアに行ってきました。

孤児院訪問



2、3歳～17歳の幅広い年齢の子供たちが100人ほど一緒に生活している孤児院を訪問しました。



孤児院の子供たちの夢は働いて、孤児院にお金を入れて子供たちを助けてあげることだそうです。



子供たちと目を合わせれば笑顔が返ってきます。手を伸ばせば握り返してくれます。



大きい年の子は小さい子供たちの面倒をよくみています。ポルポト政権から解放された記念の歌を歌ってくれました。

矢場とんカンボジアスクール



図書室は大切に使ってくれていました。矢場とんスクールの子供たちだけでなく、村の大人たちにも開放して、喜ばれているそうです。



習字の交流会では子供たちの名前をカタカナにして半紙で書いてみました。



予想以上の大きなため池が完成していました。でも、乾季なので水が少ししか溜まっていません。早く雨が降って、生活水として使えられるようになるといいです。



毎回、大縄跳びは女の子に大人気。おおはしゃぎです。



折り紙交流会では手裏剣に挑戦。でも少し難しかったみたいでした。次回の交流では何か使えるものを作るといいかと思いました。



手品も交流会でお披露目。はじめは不思議そうに見ていましたが、最後にはこの笑顔!

- おもちゃ（寄贈：愛知トヨタ中営業所様）
- ノート（寄贈：サンプラネット様）
- 下敷き（寄贈：中日グッズ様）
- ばんそうこう（寄贈：名古屋銀行の中村様 ）
- 習字道具（寄贈：伽藍様）